



2024年7月28日(日)ー京都大学 桂キャンパスー 身近なロールモデルと気軽に話そう！

大学や企業で活躍する女性研究者による講演会
理系女子大学生・大学院生や関西科学塾OGとの交流会
保護者・引率教員と大学教員との懇談会

プログラム

13:00	開会
13:05	講演会
14:45	集合写真撮影 休憩
15:10	女性研究者・女子学生・OGとのグループトーク 同伴者：大学教員との懇談会
16:45	閉会挨拶（立川康人工学部長）
16:55	閉会

「第19回女子中高生のための関西科学塾」A日程が、7月28日(日)に京都大学工学部主催で桂キャンパスにて行われました。

当日は中高生142名、同伴者103名が参加し、4名の女性研究者のお話を聞きました。

京都大学の教職員・学生、共催大学教員、関西科学塾コンソーシアム、関西科学塾OGなど約50名でお迎えました。



〈開会挨拶〉

講演者

樫藤 瑞紀

秋山 みどり

十島 彩樺

大矢根 綾子

講演題目

企業の製品開発ってどんな感じ？ー重工メーカーの現場からー

好きなことを頑張るのが一番

学生と会社員、二足の草鞋を履くまでの軌跡

光で歯を造る



〈講演会〉



〈集合写真〉



〈講演会〉



〈閉会挨拶〉

子供の興味、関心を育むことが大切であると改めて認識できた。

大学の先生からお話を聞くことができとても有意義でした。

同伴者と大学教員の懇談会では、京都大学工学研究科の平山教授による、理系の魅力や理系の女性人材活用に向けた動きなどの講演後、参加者からの質問を受けました。各大学の入試制度、学部選択のアドバイス、子どものモチベーションの上げ方など、活発な質問があり、パネリストからは、まずは多様な興味が自発的に出てくるのが大切なので、焦らず見守ることも必要、どんな学部を選択しても、必ず世界は広がるので、興味のあることに目を向けるべき、などの回答がありました。熱心な質疑応答のため時間が足りないほどでした。

交流会で相談したら様々なアドバイスがあったのでとても気持ちが楽になりました。

実際に社会で活躍されている方々の生き生きとしたお話が聞けました



交流会では参加者が18グループに分かれ、桂図書館などで講演者、女性教員、大学生・院生らと楽しく交流しました。

関西科学塾とは・・・

女子中高生の理系進路選択を支援するための事業で、今年で19回目を数えます。神戸大学・大阪大学・京都大学・大阪公立大学・奈良女子大学が中心となって、近隣の教育委員会、企業、団体、NPOと連携して開催しています。